

### 1989年(平成元年)7月21日～23日

脇田孝子さん(姉妹都市の会会長)を団長とする観光使節団15人が20年ぶりに鳥羽市を訪問いたしました。

シーナ・ロッジサンタバーバラ市長も同行し、21日の午後鳥羽市役所を表敬訪問。玄関では女子職員が和服で出迎え、市長と脇田団長に花束を贈りました。この後市長室と議会応接室でお互いに挨拶や紹介を交わし、両国の国旗が飾られた議会場では、市会議員や職員の拍手で迎え入れて、水谷市長や木田議長の歓迎の挨拶。シーラ・ロッジ市長はそれに応えて、カレンダーや仕儀を見せながらユーモアたっぷりにサンタバーバラ市を紹介し、会場は和やかなムードでした。午後3時からロータリークラブからの寄贈のドルフィン像の除幕式に参加されました。観光客も見守る中、両市の市長が序幕のロープを引くといっせいにシャッター音が鳴り、同時に噴水が湧き出すと新たな歓声も起こりました。

その後ぶらじ丸の食堂にて歓迎セレモニーが関係者が参加して行なわれ、歓迎と両市の発展を祈り祝杯をあげました。夕刻には真珠島で行なわれたジャズフェスティバルを夜更けるまで楽しみました。

22日はみなとまつりイベントに参加。仮設の舞台上では贈られた法被にねじり鉢巻で観衆に紹介され、最高の祭り気分を味わいました。夜は納涼船にて花火を満喫いたしました。

みなとまつりの最終日は金刀比羅神事に参加し、神前で厳粛な式典は、内容がわからなくても心打つものがあると皆さんは異口同音。雅楽に合わせた巫女の舞にうっとりいたしました。午後はスカイラインを通り伊勢神宮を参拝。翌朝は両市の友好と親善を果たし、鳥羽市で使節団を解散、即帰国する人のほか商用や国内を旅行をする人が鳥羽を後にしました。又、一行の中には鳥羽に約10ヶ月滞在し、住民として生活するハミルトン夫妻が一緒に来鳥し、行事に参加いたしました。又親

善使節団の中の3人がハミルトン宅に宿泊しました。

### 1989年(平成元年)7月21日～約10ヶ月

サンタバーバラ市から約10ヶ月池上町に滞在するハミルトン夫妻は、ご主人のマークさんは高校の先生、奥さんのサリーさんは小学校の先生です。お二人は日本の生活を体験したいと長期休暇を取って来日しました。帰るときには日本語も出来るようになるのが彼らの希望でした。そのほか期間中には市民と多く交流を行いました。

### 1989年(平成元年)7月21日

シーナ・ロッジ市長と姉妹都市の使節団の皆さんが鳥羽市役所を訪れ会談いたしました。その後、佐田浜公園でドルフィン像の除幕式が両市長で行なわれました。

夜は、ミキモト真珠島のジャズフェスティバルを楽しみました。

### 1989年(平成元年)9月19日～28日

サンタバーバラ市の芸術協会会員による絵画展覧会が、鳥羽市立図書館で開かれました。同協会は400人を越えるアマチュアとプロの会で、今回の出品者は19人23点。

サンタバーバラは1786年にスペインの伝道師と軍隊によって開拓され、公共の建物の多くはスペイン風の建物や、名前が多く、作品にはそれらが見られます。又このときにハミルトン夫妻の希望でサンタバーバラでも展覧会を開くため、鳥羽市の芸術家の美術、工芸、手芸品等の募集も行われました。

### 1989年(平成元年)10月～

サンタバーバラ市から鳥羽市に長期滞在を、池上町でしているハミルトン夫妻が公民館活動の行事として毎週1回、町内の母と子に英語を歌やゲームで教えてくれました。

### 1989年(平成元年)11月3日

鳥羽市民文化祭芸能・音楽の部でハミルトン夫妻が日本舞踊の「荒城の月」に挑戦。艶やかな衣裳を身にまとい、舞台をつとめて盛大な拍手を受けました。

1990年(平成2年)5月8日

昨年7月から鳥羽に滞在中のハミルトン夫妻が帰国されることになり、市主催のお別れ会が市民文化会館で行われました。この時のマークさんの挨拶の一部は「鳥羽を訪れた時は日本のことを少ししか知らなかったが、想像以上に知ることが出来ました。又皆さんの熱意と誠意で家族もように迎えられ、今二つ目の故郷が出来ました。」又サリーさんは鳥羽市で得た私の経験を、サンタバーバラの先生達と分かち合います。それと、鳥羽市での行事、出来事、あなた方はすべて私の先生でした。」と涙を浮かべて語られました。

1990年(平成2年)5月14日

約10ヶ月鳥羽に滞在していたハミルトン夫妻が帰国。彼らは滞在中、日本語を勉強し、沢山の友人を作り、市内の多くと離島のすべてを巡り、ほとんどの小中学校を訪問しました。又多くの鳥羽のイベントにも参加し、日本舞踊、習字、茶道、コーラス、餅つき、田植えや稲刈り、筍掘り等、いろいろと体験いたしました。又自宅でのパーティをして、市民との交流も深めていました。又関西方面の観光地や中部の山岳地の登山など多くを巡られたそうです。又期間中、アメリカから家族や友人が鳥羽を訪れ、数多く体験をされ帰国されたそうで、その案内人になっておられました。

1990年(平成2年)6月25日～

A班7月1日・B班7月4日

サンタバーバラ市への公式訪問は19年ぶり、4回目となりますが、日程はAコース(約28万9千円)5泊7日、Bコース(40万2千円)8泊10日、出発は同時に大阪空港から水谷皓一鳥羽市長をはじめ42人が6月25日出発、ロサンゼルス経由でサンタバーバラ空港へ向かいました。

サンタバーバラ空港ではシーナ・ロッジ市長をはじめ多くの人達が出迎えてくれました。

いったん宿泊先のホテルに入り、夜は歓迎



会に望みました。翌日の午前中にサンタバーバラ市役所と議会を訪問いたしました。議場ではロッジ市長を中央に市長を含め市議員7人が着席A傍聴席に使節団一行と関係者で満席の中、まずアメリカ国旗に宣誓を行いました。ロッジ市長は日本からの使節団を心から歓迎、「1990年6月26日をサンタバーバラ市と鳥羽市の友好親善の日」と宣言し「両市の将来の友情と親善のますますの発展を期待する」と挨拶をされました。又水谷市長も、「昭和41年の提携以来歴代の鳥羽市長がサンタバーバラ市を訪問し、友好を深めてきた。これを機に一層の両市の友好を深めたい」と応えました。その後、小久保又四郎市議会議長が、鳥羽市議会を代表してあいさつのあと記念品の交換と固い握手を交わしました。午後は2～3人のグループに分かれ、ホストの案内で市内見物をしたり、家庭でおもてなしを受けたりしました。サンタバーバラ市滞在中、公式行事には市民多数の参加で、パーティなど大歓迎を受けました。

しかし残念なことに、最終日の夜大火事があり、会場は電気がつかず又600戸以上が被災し、参加者の家が焼けたりするという惨事があり、思わぬ事態となりました。サンタバーバラ市は平均年間降雨量が約400ミリと少なく、そのうえ雨期に降雨が少なく、消火が思いに任せず広範囲に及び大火となったそうです。次の日にサンタバーバラを離れるバスの中で使節団一行は相談し、心ばかりの見舞

金を送り、一日でも早い復興を祈りました。



サンタバーバラ市を後にして観光地をを視察しましたが、Bコースは特にリゾート地の視察もありました。Aコースは7月1日、Bコースは4日に無事帰国いたしました。

参加者は、水谷皓一氏(鳥羽市長)水谷和子様(同夫人)、小久保又四郎氏(鳥羽市議会議長)、村田吉巳氏(市会議員)、佐々木高生氏(市会議員)、柴山一雄氏(柴山石油代表)柴山純一氏(同長男)、坂口良岑氏(商工会議所役員)、鳥塚幸郎氏(鳥塚商店社長)、鈴木輔男子(鳥羽木型社長)、立石悦也氏(鳥羽ぶらじる丸社長)、鈴木光紀氏(会社経営)、宮濱嘉衛氏(中幸鉄工所役員)、村田明生氏(ショッピングセンターハロー社長)村田和子様(同夫人)、佐藤八郎氏(元会社員)、佐藤富美子様(同夫人)、尾田寛光氏(無職)、山下喜善氏(元教師)、小竹巳代治氏(会社員)、小竹清美様(同夫人)、藤本ゆかり(ひまわり文化教室講師)、馬瀬行博氏(塾経営)、斉藤晋氏(元会社員)、西井次郎氏(市役所職員)、吉川政雄氏(サン浦島社長)、九鬼文雄氏(市長随員)、西川慶堂氏(市会議員)、増田幸男氏(市会議員)、原田五男氏(鳥羽一番街社長)、吉田謙一氏(ホテル和光社長)、藤井淳二氏(藤井紙店店主)、迫間正次氏(ビューホテル社長)、柴田喜通氏(ホテル彩花亭社長)、森本繁蔵氏(御木本真珠島役員)、中村照子様(大進ハウジング役員)、中村みやび様(同長女)、中村数美様(鳥羽水族館館長夫人)、中村エマ様(煎茶教授)、福田勝治氏

(建設業社員)、野村直樹氏(野村電気長男)、野村盛人氏(野村電気次男)

**1990年(平成2年)6月26日**

鳥羽市からの親善使節団が、サンタバーバラ市役所を訪問した際、シーナ・ロッジ市長が「サンタバーバラ市と鳥羽市の友好親善の日」と宣言し、両市の将来の友情と親善にますますの発展を期待すると挨拶。

**1990年(平成2年)7月**

使節団参加者の有志がサンタバーバラの集いを開催。これが姉妹都市交友会の母体となり、写真の交換会、又帰国後サンタバーバラからの訪問者の受け入れ先となりました。

**1990年(平成2年)8月21日**

6月に鳥羽市の使節団がサンタバーバラ市を訪れたとき、山火事が有り街の一部も消失いたしました。その際使節団参加者で寄付を集め、帰国後も多くの市民の善意で見舞金233万円が集まり、サンタバーバラ市に贈りました。後日のシーナ・ロッジ市長と姉妹都市委員会の脇田孝子委員長の礼状によると、見舞い金は半分が全焼した青少年身体障害者施設アルファ・スクールへ、残り半分を市民の憩いの場所であるタッカーズ・グローブという公園の復興に使われました。又このような義援金を贈ったのは姉妹都市の中でも鳥羽市のみということで、市議会をはじめ皆さんから日本人の寛大で親切な気持ちに感心をされました。

又、ハミルトン夫妻からもお礼状が届けられました。

**1991年(平成3年)3月**

サンタバーバラからの訪問者があり、鳥羽・サンタバーバラ姉妹都市交友会のメンバーのところは旅館だったのでそこに宿泊。市内を案内しました。

**1991年(平成3年)4月**

鳥羽市が国際交流協会の前身に当たる推進協議会を立ち上げることになり、姉妹都市に訪問したことのある交友会の会員が召集され、